

THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.

略称：TNM

## ねじ締め機を中心とした 自動組立機のパイオニア

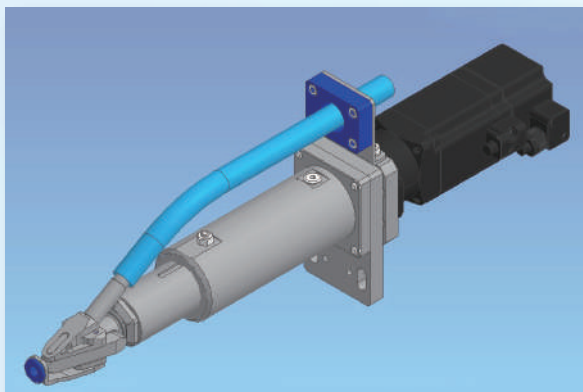
ねじをエア圧送後に自動締結するねじ締め装置は、取出し式に比べ大幅な生産性向上を実現します。中でもタイ市場に合わせた単軸ねじ締めユニットFM513V、TM810Cはローコストで品質向上に貢献します。

日本製の機械を輸入したが現地にサービス体制が無いというメーカーが多い中、当社はアフターサービスの体制も充実しています。

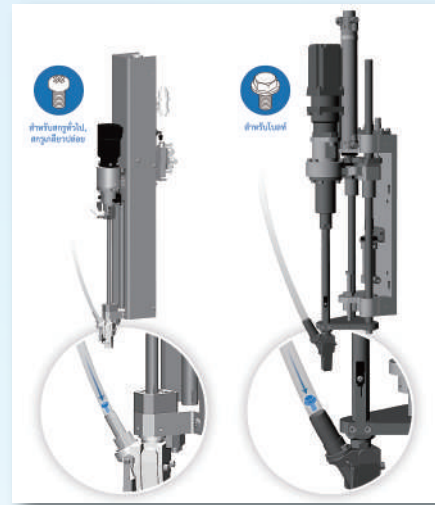
アジア各国の日系自動車サプライヤーを中心に豊富な実績を持つNITTOSEIKOブランドのねじ締め機は、ここタイを発信基地としてあらゆる製造業を支えていきます。



ねじ締めロボット『SR565Yθ-Z』



協働ロボット搭載用ねじ締めユニット



単軸ねじ締めユニット『TM513V・TM810C』



地盤調査機『ジオカルテ®IV SDS』

### 【事業内容】

- ・産機事業、制御システム事業製品の輸入販売とASEAN各国への輸出
- ・タイ加工品の日東精工への販売
- ・日東精工グループ製品、及び自社製品のメンテナンス

### 【営業品目】

- ・ACサーボねじ締めドライバ ・ねじ締めロボット
- ・単軸／多軸ねじ締め機
- ・ねじ供給機（フィーダ）
- ・バランスアーム付きねじ締めドライバ
- ・ハンディ自動ねじ締め機 ・リベット・ハトメかしめ機
- ・自動組立・検査装置
- ・ポカヨケシステム『Pokamo™』
- ・地盤調査機『ジオカルテ®IV SDS』
- ・流量計 ・マイクロバブル洗浄装置『バブ・リモ®』
- ・検査選別装置『ミストル®』 ・振動検査装置『キズミル®』

## 【代表挨拶】

TNMは2013年に設立、創業を開始しました。  
自動車産業の集積地であるタイ王国は「東洋のデトロイト」と呼ばれ、日系自動車部品メーカーも数多く進出しており、TNMの主要ユーザー層となっています。

TNMは、ねじ締め機を主とした組立装置の販売とメンテナンスを中心に事業展開を図り、締結に関する周辺機器全てを取り揃えるNITTOSEIKOの強みを最大限に発揮しています。  
近年は新分野への参入を目指し、地盤調査機「ジオカルテ® IV SDS」の取扱いも始めました。

TNMでは「Challenge (挑戦)」、「Communication (コミュニケーション)」、「Change (変革)」の「3つのC」を大切にしています。困難なことに対しても果敢に挑戦する、チームワークを活かした全員営業、そして自ら大きく変革することで成長、会社は進化をしていきます。

これからもTNMは、労を惜しまず努力し、新たな価値創造の実現へと進んでまいります。



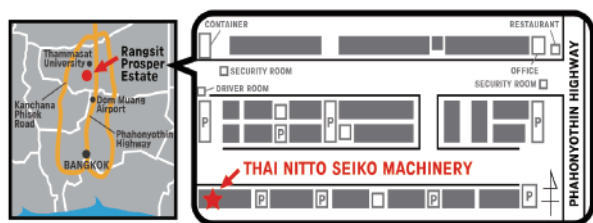
代表取締役社長 畠口 一男



事務所の仕事風景



THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.



Rangsit Prosper Estate 工業団地

(上) 会社外観 (下) 所在地図

## 【会社概要】

商号：THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.

代表取締役社長：畠口 一男

設立：2013年（平成25年）7月31日

資本金：21,000,000 THB

従業員数：9名

所在地：9/158 Moo 5, Phaholyotin Road, Klong 1, Khlong Luang, Pathumthani 12120, Thailand

TEL：010-66-2-902-0916

FAX：010-66-2-902-0977

URL：<https://www.fact-link.com/home/thainsm/>

## 【交通アクセス】

- ・バンコク中心部（プロムポン周辺）から約39km
- ・スワンナプーム国際空港より車で約1時間
- ・バンコク北部、パトゥムターニー県  
工業団地「ランシット・プロスパー・エステート」内